

高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE

2008年(平成20年)6月18日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会 第43号

柔らかい心で

学長 栗原 廣海



村澤忠司前学長の任期満了に伴い、四月一日から新学長に就任しました。以来約一ヶ月、日々の職務をとおり、責務の重さの実感をいよいよ深めているところです。微力ながら精一杯努めさせていただきまますので、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、本学は真宗高田派を母体とする宗門大学であり、「仏教精神に基づいて宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成すること」を建学の精神とし、「広い視野をもった、おおらかで柔軟な思いやりのある心」を育てることを教育の理念に掲げています。

現代は少子高齢化、高度情報化の時代であるといわれています。本学の子ども学科・人間介護福祉学科・オフィス情報学科は、この時代にまさに対応する学科であり、学生の皆さんはそ

れぞれの学科で、現代社会が求めている高度な専門知識・技術を身につけるべく日々勉学に精進しているわけです。しかしどれだけ専門知識や技術が身についても、広い視野でそれをどのように活かせばよいかを考えられなければ、宝のもちぐされとなってしまうでしょう。

私たちは日頃、見たり聞いたりするものに特に疑問をもたず暮らしていますが、それは果たして正しいのでしょうか。こんなたとえがあります。ある人が夜道を歩いていたら細長い黒いものを発見し、「蛇だ」と驚いて飛び退いた。しかし動かさないで恐る恐る近づいてよく見ると、それは蛇ではなく古びた縄だったのではと胸をなでおろした。その縄は実は麻の繊維でできていたというのが真相であった。

これは「蛇縄麻のたとえ」といわれ、実際には存在しないものを自分の心が作り出し、それを存在だと思ひこんでしまっている私たちの愚かさの実態をたとえたものです。蛇への嫌悪感や恐怖心が、縄を縁として蛇を作り出したわけで、嫌悪や恐怖を感じない人にこんな間違いは起こらないわけです。

自己中心・利害打算の心がなければ、ありのままに広い視野で正しく見ることができると、

現実自我の硬い殻に覆われて狭い視野で、自分の都合のいいようにしか見ることができないことをこのたとえは指摘しているのです。

この現実のままでは、せつ

学生自治会

こんにちは。執行部十二人です。よろしくお願ひします。毎週の会議では各学科のリーダー達と一緒に、学校生活を楽しく過ごせるように意見を出し合っています。

私たち執行部の活動はTJC祭から始まり、一番大きなイベントである高短祭に向けて、動きだしています。これからいろんな事があると思いますが、十二人力を合わせて、日々頑張っています。

- ここで、私たち執行部が活動している内容を紹介します。
- ① 学生自治会の年間業務の企画・予算
 - ② 「高短祭」の計画、実施
 - ③ 卒業アルバム編集
 - ④ 謝恩会の企画・実施
 - ⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催
 - ⑥ 「セーフティたかだ」での地域の安全活動
 - ⑦ TJC祭の企画・実施などです。

く身につけた専門的知識も技術も真に活かすことはできないでしょう。これらの習得に励むとともに、仏教の授業や行事をとおして柔らかい心を培ってほしいと思います。

学生生活の一大イベントの高短祭は、今年で四三回を迎えます。日程も十月二五日(土)二六日(日)と決まっています。昨年までの良かった点、悪かった点を踏まえ、みんなで楽しめる企画を考えたいです。何か要望や案があれば、気軽に自治会役員に声をかけて下さい。当日は先生も含め、楽しみましょう。



平成20年度 学生自治会メンバー

子ども 学科コーナー

特色ある教育システムと
保育者養成の充実をめざして



学科長
三宅 啓子

幼児教育学科から子ども学科
になって三年目を迎え、本年度
再び学科長を拝命致しました。
学科の先生方の精力的で熱心な
教育・研究活動の力を基に、子
ども学科の学生が益々現代地域
社会で求められ、活躍できる人
材として送り出せるような教育
体制づくりを推進して参りたい
と思います。どうぞよろしくお
願い申し上げます。

お知らせ
「第5回保育セミナー」開催
テーマ「現代ニースに広がる保育」
日時 平成20年7月13日(日)
午後一時三〇分

高田短期大学に入学して



1年 落合 珠代

夢と希望の実現に向けて

高田短期大学
に入学して、一
ヶ月ほどが経ちました。ようや
く短大生活にも慣れ、保育者にな
るといふ夢の実現に向けて、
たくさん仲間と一緒に毎日頑

【文部科学省 特色ある大学教
育支援プログラム(特色GPP)
に選定された】

本学はこの度、文部科学省か
ら、大学教育の改善の取組の中
で、特に優れた特色ある取り組
み(Good practice)
として選定されました。選定さ
れた大学は、その事例を広く社
会に情報提供するとともに財政
支援を受け、国公私立大学を
通じて、各大学及び教員のイン
センティブになるとともに、他
大学の取組の参考になり、高等
教育の活性化の促進を目指すこ
とが求められ認定されたのです。

高田短大の取組内容は長年幼
児教育・保育者養成教育の工夫
と改善を積み重ね、幾多の方法
論と実践経験を蓄積してきた子
ども学科と、学科教員の知的財
産地域還元の場としての「育児
文化研究センター」の活動との
連携共同取組です。テーマは

「保育者養成校の子育て支援ボ
ランティア体験『子育て応援
隊』の企画と実践」です。学生
たちが高田短期大学子ども学科
養成教育で得た子ども理解と知
識・教育力と技術力そして地域
支援力等を、身をもって習得で
きる保育・子育ての理論と実践
のさらなる充実・発展に向かっ
て努力して行きたいと思ってい

【果たすべき教育機能と教育】

「夢と笑いのある学びの場」と
いう教育スローガンのもと、学
生一人ひとりを大切にしたいオン
リーワン(Only One)
の養成教育を推進したいと思っ
ます。

- 一、幼稚園教諭・保育士(教
職・専門職)に対する夢・
憧れと強い情熱
- 二、教育・保育のプロとしての
確かな専門的力
- 三、人間としての魅力と深みの
ある豊かな人間性

張っています。私は中学生の
頃から保育士になりたいと思っ
て、今年この学校の子ども学
科に進学し、保育士になるため
の本格的な勉強が始まってうれ
しい気持ちと共に、保育士にな
ることの大変さを感じました。
今までは「なりたいな」と思っ
ていた保育士も、今では「絶対
になるぞ」と強く思うようにな
りました。私は人との関わりや、

研究余滴

うっすい

山本 敦子

大学時代にお世話になった作
曲の先生が、この春、退官記念
のコンサートを開かれると聞き、
卒業以来何年かぶりに懐かしい
キャンパスを訪れた。緑豊かな
その地は、母と二人で初めて訪
れたときとまったく変わらぬま
ま、木は青々と葉を茂らせ光り
輝いていた。正門を入ってすぐ
の階段をしばらく上ると、左手
に文化ホールが見えてくる。在
学中は一度しか入ったことのない
建物。しかし今日、その扉の
向こうにはこの日を待ちわびて
いた人々が大勢集まり、会場は
冷めやらぬ熱気に包まれていた。
受付にはスーツを着た学生
たちが並び、その横に声楽の先
生がにこやかに立っておられた。

「山本さん、元気？今日は三重
から来たの？」数年の隔たりな
どまるでなかったかのような気
軽さに、緊張していた私の心は
感動したりして、今日も充実し
た一日だったな、といえる毎日
を過ごしたいです。そして、卒
業するときには感性豊かな人に
なれることを目標に、日々勉強
に励みたいと思います。

いつべんに和らいだ。振り向け
ば懐かしい顔ぶれ・慕い憧
れていた先輩、頼もしかった後
輩・ひとたび顔を見るだけ
であのころの私たち、流れてい
た空気がふわりとよみがえった。
午後三時。開演を一同待ち望
むなか、盛大な拍手を浴びて本
日の主役、作曲の先生が舞台袖
から出てこられた。少しはにか
んで一礼をなさるその姿は、退
官という年齢を感じさせないほ
どはつらつとされ、穏やかな雰
囲気をいっそう醸し出していた。
コンサートの前半はプレト
ーク。先生が大学に着任されてか
ら今日に至るまでを司会者とし
てもに振り返った。作曲のこと、
授業のこと、学部の変遷、音楽
科の先生方のことなど、エピソ
ードを交えながら楽しく話して
くださった。そして後半、演奏
者を舞台に迎え、先生の作品の
中から代表的なもの二曲―ピア
ノとチェロの器楽曲とメゾソ
プラノの音楽曲―が披露された。
不協和音の重なり、突如跳躍す
る旋律。思えば、先生の作品を
このようにきちんとした形で聴
くのはこれが初めてだった。

先生は生け花がお好きで音楽
棟にいつも花を飾ってくださっ
ていた。舞台の上には、今日の
日も春の花々が美しく盛られ、
音楽の調べのなかでこの記念の
ときを静かに見守っていた。

人間介護福祉
学科コーナー

学科の完成年度を迎えて



学科長
千草 篤磨

平成二〇年三月に人間介護福祉学科の第一期生一三名が卒業し、ようやく学科としての完成を迎えることができました。この二年間は、子どもが発達に譬えれば、母親のお腹の中で育つ「胎児期」のようなものでした。平成十八年四月に文部科学省から設置認可を受け、子宮内膜への着床が確認されました。大学という母体から酸素や栄養をもらいながら、徐々に学科としての器官形成がなされてきました。一年目はつわりがきつく、

高田短期大学に入学して



1ヶ月の短大生活を通して
1年 福岡 美希

高田短期大学に入学してまず感じたことは、とても綺麗な学校だということです。校内にゴミが落ちていないのいいなと思いました。

二年目には浮腫が続いて、母体もかなり苦労しました。その甲斐あって、無事満期出産、正常分娩でした。体重は標準をかなり下回りましたが、元気に産声を上げ、母乳もしっかり飲んでいきます。現在は生まれたての新生児期で受動的な反応が中心ですが、これからは社会的な関わりの中で徐々に能動的な活動を広げていくこととなります。

さて、今回はこの「コーナー」を借りて、今後の学科の社会的な活動計画を紹介します。卒業生が社会に巣立ったこともあり、地域の福祉施設等との関わりをより密接にするために、「地域連携推進事業」という枠組みを作り、活動の輪を広げていきたいと思います。まず、現在介護実習等でお世話になっている社会福祉施設の職員の方などを対象とした「介護技術講習会」を計画しました。本年度厚

生労働省より認可を受け、本学の施設を活用して、年二回実施することになりました。

また、福祉施設の職員研修等に学科教員を講師として定期的に派遣し、本学と福祉現場が連携をとりながら、福祉の質を向上させていく取り組みを計画しています。今年度は津市内の特別養護老人ホーム一か所と連携して実施します。

その他、卒業生のリカレント教育を兼ね、教員と卒業生による「地域福祉問題研究会」を発足し、年数回の実施を予定しています。そして、これらをまとめるものとして、「人間介護福祉学科年報」を引き続き年一回発行していきます。今年度の第三号も福祉施設の職員の方や専任教員、非常勤講師、卒業生、在学生などが協力連携して、内容のあるものに仕上げたいと考えています。

入学当初は、知らない人ばかりで、友達ができるか不安でしたが、宿泊研修などもあり、すぐに打ちとけることができました。

宿泊研修では学科別研修や、グラウンドゴルフや、ゼミ別研修など色々な事をして忙しかったけれど、友達と一緒にだったので楽しく参加することができました。この研修を通じて、たくさんの方の事を学び、学生同士や先生

方と、より親睦が深まったと思います。

高校とは違い、短大は授業時間が90分になったので、最初のときはなかなか授業が終わらなくて慣れませんでした。けれども、座って講義を聞くばかりではなく、レクリエーションや実技など実際に体験する授業もあって楽しく受けられています。どの授業も専門的な事ばかり

研究余滴

ヘルスケア労働力供給に関する政策的研究

山田 亮一

介護保険の施行前、地元の見守りボランティア活動委員会を拝命していた時、地域の特色ある介護保険制度となるためには各ニーズに応じた介護サービスが必要であった。「制度あつてサービスなし」とならないためには、需要に応じた供給量を確保することが最大の課題でもあった。これを解決するために介護保険が制度設計で挿入したことは、「措置から契約へ」の転換と「準市場」の導入であり、多様な介護サービスを市場原理に委ね、供給することで



いくつかの事例が示すように介護や医

で難しいですが、先生方が熱心に指導して下さるので、わかりやすいです。

短大での2年間でたくさんの事を学び、成長していきたいと思っています。

療・福祉分野のサービス需要と労働力供給の不均衡は各制度を機能不全や破綻へと誘引する元凶である。労働力供給は市場原理にそぐわない面もあり、新たな労働政策的な研究が必要であると考えている。

ヘルスケア労働力供給に関する政策的な研究を進めるにあたり、移民労働者を含めた看護士の労働力確保のマクロ分野の研究と看護士を中心とする専門職の役割、教育・研修制度に関するミクロ分野の研究を進めている。

マクロ分野ではフィリピン人看護士を中心とする労働供給国とイギリス・アメリカ・サウジアラビアの労働需要国との関係国の労働力移動について学会報告・論文・雑誌等で発表している。この研究は日本において、経済連携協定によるフィリピンやインドネシアからの看護士・介護士の導入を間近に逼るなか、先行研究として有効性を持っている。

専門職研究を中心とするミクロ分野の研究では看護士の仕事を視点として研究を進めている。専門職化への拍車と総合化傾向が並行して進行中である。これは国際的に共通した動きでもある。各国のヘルスケア労働者に、さらに、国際的な教育・研修へと統合されるかは今後の展開を待たなければならない。

オフィス情報学科 コーナー

キャリアアップグレード 支援プログラムの開発



学科長
大西 眞純

「キャリア教育」をより推進するために、平成17年度から、「教養教育改革推進」補助を受け、3年計画で「キャリアアップグレード支援プログラムの開発」を行ってきました。その主なものは次のようです。

①「スキルアッププログラム」を実施しました。
資格取得を支援する科目を設定し、多くの検定や資格、高度な検定や資格を取得した学生を表彰する制度です。これによって、学生の目標がはつきりし、

その成果を認めることで大いに向学心が高まっています。

②厚生労働省の「Yesプロگرام（若年者就職基礎能力支援事業）」を導入しました。企業が採用に当たって重視している基礎能力は、「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「ビジネスマナー」「資格取得」です。これらを「就職基礎能力」として、定められた科目を履修した学生には厚生労働省が発行する証明書を取得できるようにしました。

③マナー接遇等の学習ビデオ教材を作成し、eLearning化して授業中だけでなく、いつでも学内のWebページで繰り返し閲覧して学べるようになりました。

④先輩や、先に就職試験を受けた人の報告をデータベース化することによって、受験する企業について検索し、どんな問題が

出たのか、どのように面接試験が行われるのかなど、いつでも見られるようになりました。

⑤「キャリアアカルテシステム」を開発しました。学生の就職活動状況と支援状況をデータベース化して、学生一人ひとりの状況を全教員が共有することによってよりの確な支援を行えるようになりました。

⑥本学科全教員が、教員向けコーチングを受け、その指導技術を充実させています。

このように、オフィス情報学科は、学生の支援を第一に考え、教育研究に努力し、学生一人ひとりに合わせた就職支援をしています。今後の課題は、研究開発したこのシステムの運用を定着させ、学生のために活用していくことです。



研究余滴

「教育工学」と「生きる力」

鷲尾 敦

「コンピュータリテラシー」という言葉がある。「リテラシー」は、読み書き能力のことである。読み書きができるということは、新たなことを学んでいくことができるということである。そこから、「生きる力」ともいえる。そういう視点で「コンピュータリテラシー」は、経験のない新たな状況においても、コンピュータを利用できる、あるいはできるように学んでいくことができるということであり、これからの時代には欠かせない「生きる力」である。

であると私は思っている。

そのために、次の二つの点に注意を払うべきと考える。まず、学生が自ら学んでいく態度を養うために、知識・技術を教えるという「教育をする」態度から、「学習を支援する」態度へシフトすることである。次に、学生が自ら学ばざるを得ない「学習の場」作りである。その手法の一つとして、PBLがある。グループで、課題がどこにあるか発見し解決していく。課題が現実のものであればある程、学生の意欲が引き出される。課題が学生を動かすのである。

学習支援に徹すると、学生の行動の変化に気づく。学生の成長がわかるのである。この学生の変化つまり学生の学習状況や授業全体の状況を評価情報とし、学生の指導戦略にフィードバックする。これによって学生のさらなる成長を促すとともに、授業そのものをよりよいものへと改善していく。授業活動に二重の制御系を構築するのである。

このように教育や授業をシステムととらえ、工学の持つ技術思想的な手法を教育活動に応用する学際的な研究領域が「教育工学」である。

「教育工学」的手法により、情報技術における「生きる力」を本学の学生に身につけさせたいと考えている。

着任のみなさん



四年ぶりに
戻りました
久保田 郁夫

「本学の飛躍のため、思い切った改革に励むように」とのご指示を頂き、相談役という大任をお任せつかりました。皆様の変わらぬご交情、ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



新しい出会いに
力をもらって
山崎 征子

保育原理、教育課程、実習研究を担当することになりました。保育の現場は激動期です。新しい時代に求められる人材が、高短で育つよう努力したいと考えています。よろしく申し上げます。



授業は面白く
なくっちゃ..
池村 進

保育内容「環境」等を担当させていただくことになりました。何にでも興味を持ち何処へでも顔を出す面白いこと大好き人間です。高田ブランド高揚のため全力を挙げて、頑張ります。



よろしくお願
いいたします
黒宮 英二

この四月から事務局で広報・入試、進路を担当させていただきますことになりました。仏教精神に基づく人間教育を建学の精神とする高田短期大学のため全力を尽くしてまいります。



キャリアサポート
伊藤 茂一

進路課に着任し、学生のみなさんが進路希望を実現できますようサポートしたいと思えます。みなさんに少しでもお役に立てるよう努めていきますので、気軽に相談をしてください。



新たな気持ちで
高村 幸生

4年ぶりに高田中等高等学校から本学に戻って参りました。大志を取り巻く状況は厳しく、愛着ある本学の土台を支えられるよう微力を尽くして参りますのでよろしく申し上げます。



新任にあたって
佐々木 秀英

四月から学務課でお世話になっております佐々木と申します。

この三月に大学を卒業したばかりの若輩ではございますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう、全力で頑張ります。



新たな気持ちで
青木 陽子

四月より総務課で勤めさせていただきますことになりました。まだまだ分からない事ばかりですが、日々努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

退任のみなさん



さらなる
発展を願う
村澤 忠司

本学の整備充実に、共に活躍いただきました皆様方にお礼申し上げます。地域の短期大学として益々愛され、発展されることを願い、お別れに致します。



皆様に感謝して
豊田 和子

緑に囲まれた高田短大で十六年間、多くの教職員の方々、学生達と出会い幸せでした。その間に賜ったご指導・ご厚情に心より感謝申し上げます、貴学の益々のご発展をお祈りします。



出逢い
望木 郁代

教員という仕事の喜びは、たくさんの学生さんとの出逢いです。どうぞ皆さん、子どもの心に寄り添った素晴らしい保育者になってください。遠くからずっと応援しています。



楽しい
5年間でした
武田 英機

高田学苑を母校とする私にとつて少しでも協力できることは歓迎でありました。事務は不慣れで何かと皆様にはご迷惑をおかけしたと思います。益々発展することを念じています。



退任にあたって
長谷川 千鶴子

在職中は大変お世話になりました。高田短期大学での思い出を宝物として残りの人生を過ごして参りたいと思えます。今後の教職員の皆様の御活躍を心より祈念致します。



思い出溢れる
キャンパスに
おわかれを..
水井 智子

在職中、教職員の皆様には、

一方ならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。また、学生の皆様、卒業生の方々、生涯忘れえぬたくさんの思い出があります。ありがとうございました。

一期一会
森本 佳奈

短い間でしたが、たくさんの方々と出逢い、貴重な経験と、かけがえのない思い出ができた事を、心から感謝しています。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

平成20年度
新入生宿泊研修

学務委員長 畠山 義啓

四月二十四日・二十五日の二日間、白山ヴィレッジゴルフ倶楽部にて「新入生宿泊研修」を実施いたしました。この研修の目的は、学生間そして学生と教員の親睦を図ること、学内ではできない学科に応じた特色ある研修を行うことです。今、研修後の学生によるアンケートを見ながらこの原稿を書いていますが、新しい友達が多かった、多くの人と話すことができた、教員が研修のためにいろいろと工夫してくれているといった声が多くあり、当初の目的が達成されたと理解しています。

学生のみなさんは、洒落たコテッジに宿泊し、夕食と朝食は

バイキングスタイル（蛇足ですが、バイキングは通じない英語の典型で、Buffetビュッフェ、発音はバッフェといった感じですが）で、いろいろと新しい経験をされたことと思います。コテッジでは、ベッド決め、お風呂の順番、部屋の片付けなど協力することの大切さ、お互いに快適に過ごすにはどうしたらいいのかという学習をされたことでしょう。また、バイキングスタイルの食事では、食べ過ぎた人が多いと思いますが、適量を取るにはどうすればよいのかも少しは理解していただけたことと思います。そうなのです。二日間の研修ですが、実は親睦を図る中で、人生の勉強をしていただいているのです。研修当日もお話をさせていただきましたが、幸せになるためのキーワードは、Just Do Itです。「怒らない」「恐れない」「悲



しまない」、そして、自分が置かれた状況で何をすればよいのか考えて、行動するのです。まさにJust Do Itです。「やってみようか」「やればいんだよ」と言った意味です。自分のことだけ考えていたので、幸せが逃げてしまいます。周りを思いやり行動することで幸せになれるのです。そんな人生の勉強をしていただきました。

仏教文化研究センター
センター長代理 采筆 眞澄

昨年九月、『翻刻 眞正流義鈔蒙引』を刊行しました。高田派中興の祖といわれる第十世眞慧上人が著された『眞正流義鈔』を解説したのが、智慧光院（西院）の江戸時代の学者眞淳師の『眞正流義鈔蒙引』であり、

この書物を原本どおりに正確に翻刻し、解題を付したのが、今回刊行した『翻刻 眞正流義鈔蒙引』です。

今後の研究会では、この書物を繙くことをとおして、『眞正流義鈔の研究』（仮題）の刊行に向け、前進したいと思っております。また今年から、仏教に関心のある本学の学生や地域の方々を対象に、仏教入門講座を開設す

る予定です。細かい内容は未定ですが、『ジャータカ』や現代仏教童話等を講読し、互いに意見を交換しながら楽しく仏教を学び合おうという企画です。多くの学生諸君の参加をお待ちしています。

（追伸）『翻刻 眞正流義鈔蒙引』は一冊七千円で頒布しています。ご希望の方は図書館でお求めください。

オーストラリア
海外英語研修に
ついて



オーストラリア
オーストラリア海外英語
研修に参加して
子ども学科 2年 藤岡 由季

平成二〇年三月九日より二十一日までの十三日間の英語研修を無事終了いたしました。今年度は、イースター（復活祭）春分の後の最初の満月の次の日曜日（三月二十三日）で、その時期はイースター休暇になるので出発を早くしました。

引率をしていますが、短期間の研修でも学生の皆さんの英語を聞く力が急速に伸びることに驚かされます。やはりこれはホームステイ中に家族が言っていることを一生懸命聞くこととすることが大きいに役立っているのだと思います。そして、英語力だけでなくオーストラリアの家族の一員として生活できることは、人生の貴重な体験と言えるでしょう。

そして、今年はずっともうれしい報告があります。私たちのメルボルン滞在中、本学の卒業生が訪ねてくれました。彼女は卒業後メルボルンへ留学し、一昨年永住権を取得しました。そして、今年十二月オーストラリアの青年と結婚することです。ここでも卒業生がたくましく生きていくことを嬉しく思います。

オーストラリア海外英語
研修に参加して



オーストラリア研修に参加した皆さんの皆さんに出会えることが出来ました。ホストファミリーと一緒に暮らすことは、期待と不安で一杯でした。

初めてファミリーに会った時はとても緊張していて、上手く話せず、自分から何を話したらよいのか分からなくて戸惑っていました。しかし、聞き取りやすいようにゆっくり話してくれたり、ジェスチャーで伝えようという気持ちを感じられ頑張ろうと思いました。

言葉や文化が違ってても触れ合えたり仲良くなるのが出来ました。また、言葉が違う分、相手と話したいことを話せるように勉強しておけば良かったと思いました。私にとって、今回の研修は、また行きたいと思えるぐらい素敵な研修でした。



育児文化 研究センター

センター長 梶 美保

育児文化研究センターの事業内容は、育児文化に関連する研究会と情報発信、地域に密着した子育て支援事業、研究員・客員研究員を県内各地に派遣する出前講座等があります。子育て支援事業は、新規事業「絵本の

読み聞かせ」「マタニティコンサート」が追加され、昨年度は二十三回の実施で千二百名の参加がありました。また、自治体から委託を受けて実施した「パパ教室」や自治体、民間団体の企画した子育て支援関連イベントに参加し、県内における様々な子育て支援活動と連携したネットワークができてつつあります。平成十九年度には、子育て支援を目的とした活動に学生が学内

外に活動する「子育て応援隊」が、子ども学科の総合演習ボランティア精神の活動とともに特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）として採択されました。このような学生を巻き込んだセンターの子育て支援事業は地域子育て支援ボランティア活動体験型教育とも言えます。センターの機能が一つ追加された年でもありました。

卒業生からの メッセージ

①勤務先 ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと ③将来の夢 ④高田短大とは ⑤後輩へのメッセージ

目指せ憧れの先生！

平成16年卒 山本 望未



①津市立雲出保育園②子どもたちと一緒にたっぷり遊んでたっぷり食べて、毎日かわい笑笑顔に癒されています。また今の職場で心の底から尊敬する先輩保育士に出会いました。子どもたちとの出会いは、私にとって宝物です。③そこにいるだけで、子どもたちが集まってくるような先生になりたいです。④クラブ活動と資格取得に熱中した、充実した2年間でした。⑤たくさん勉強して、おもいきり遊んで、後悔のない短大生活を送っ

これからの自分

平成19年卒 黒川 歩



①しおりの里②就職をして数週間がたちました。認知症の方々と

の対応は、難しく上手いかない時があり自信をなくすこともあります。しかし、利用者の笑顔や「ありがとう」という言葉に嬉しくなり介護福祉士になつてよかったです。③利用者者のことを一番に考え、笑顔と優しい心を忘れず利用者から信頼されるような介護士になりたいです。④いろいろあった2年間少ない人数でしたが充実した日々を送れました。⑤様々な経験をして頑張ってください。

就職先一覧

子ども学科 就職先

◆幼稚園(公立)

亀山市立井田川幼稚園、志摩市立国府幼稚園

◆幼稚園(私立)

あおい幼稚園、暁の星幼稚園、さくら幼稚園、鈴鹿幼稚園、双康幼稚園、高田幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園、まつさか幼稚園

◆保育園(公立)

津市立川合保育園、津市立栗真保育園、津市立のむら保育園、松阪市立大河内保育園、桑名市立山崎保育園、伊勢市立明倫保育園、多気町立相可保育園

◆保育園(私立)

あかつき保育園、有滝保育園、伊賀市社会事業協会、石薬師保育園、一色保育園、大谷台保育園、片田保育園、上浜保育園、川崎愛児園、かわしま保育園、神戸保育園、岸田保育園、久保保育園、ぐみの木保育園、光陽保育園、こっこ保育園、サラナ保育園、志登茂保育園、洗心福祉会、多度保育園、津愛児園、津カトリック保育園、つくし保育園、つくし第二保育園、豊野保育園、豊浜西保育所、なかよし保育園、長太ノ浦保育園、西浦保育園、野登ルンビニ園、ハートピア保育園、浜田保育園、日永保育園、藤水保育園、船江保育園、ほうりん保育園、ほだいじ保育園、美里さつき保育園、みそら保育園、柚井保育園、ゆたか保育園、若葉保育園

◆施設

井村屋製菓(株)、エスベランス四日市、済生会明和病院、鈴鹿病院、聖母の家、のぞみの里、三重済美学院

◆企業

伊賀接骨院、実践倫理宏正会、すし道場、ダイワラクダ工業(株)、中部電力(株)、川越電力館、三重日産自動車(株)

◆進学

エクセレンス、セントラルトリミングアカデミー、名古屋柳城短期大学 専攻科

人間介護福祉学科 就職先

◆施設(老人)

明合乃里(やまゆりの里)、翠明院、高田光寿園、たきび、津ワークキヤンパス、ヤナセグループ(しおりの里)、ルーエハイム、三重病院

◆企業

津安芸農業協同組合、岩崎歯科医院

◆進学

皇學館大学 社会福祉学科

オフィス情報学科 就職先

◆建設業

生川建設(株)、丸亀産業(株)

◆製造業

朝日海苔本舗(株)、(株)トピア、(株)ヘラクス、シャープビジネスコンピュータソフトウェア(株)、松阪ダンボール工業(株)、味の素ゼネラルフーズ(株)

◆情報通信業

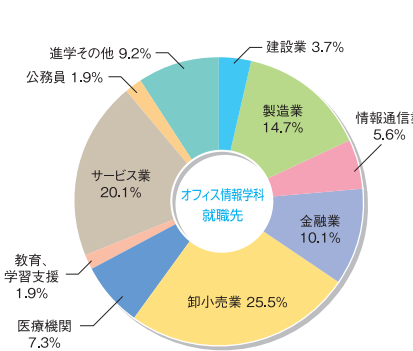
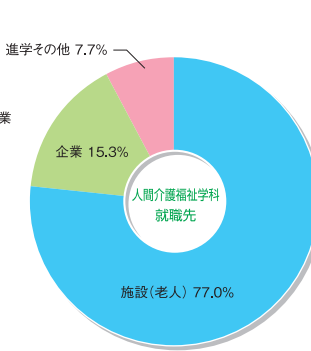
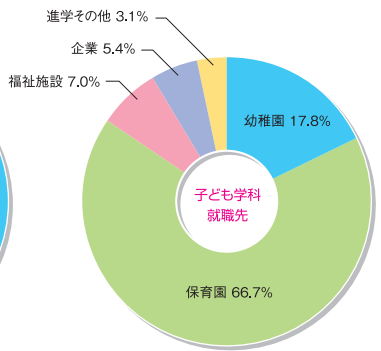
(株)ミエテンシシステムソリューション、(株)中広、(株)フィッツ

◆金融・保険業

岡三ビジネスサービス(株)、(株)百五銀行、(株)三重銀行、北伊勢上野信用金庫、サンライフ、富国生命(株)

◆卸小売業

花王カスタマーマーケティング(株)、(株)キューサイ青汁中部センター、(株)スズキ自販三重、(株)ハースーズ、(株)ホンダカーズ三重北、鈴



同窓会の近況

北端 一子

研修会に参加した時、高田短大の話が出て「あら、あなたも高田短大の卒業生なの?」「あなたも?」と「わたしは三期生」「先輩ね」などと話が続き、通学の話では「あの坂道大変だったね」「砂利道で、みんな歩いていったものね」「一身田駅から歩いた」「高田本山からも歩いたことある」「ピアノを教えていたいただいた先生は元気かな?」「怖い先生だったな」と話が次から次へと出て盛り上がりました。多くの先輩たちが現

場で、今もなお後輩の指導をしたり、園長として園を運営したりと働いてみえます。後輩たちのよき先輩として足跡を残しているように頑張らなければと感じました。

同窓会活動の中で、同期生との集まりに補助金を出しています。楽しく食事をしたり、おしゃべりをしたりしながら集まることも一つの方法ですよ。役員会では、お互いの近状を報告したり、同窓会の運営について話し合ったりしています。運営について何か良い意見がありましたら教えてください。高短祭に今年もバザーをしますので来てくださいね。待っています。

編集後記

皆様のご協力により高田短期大学通信第43号発行の運びとなりました。ご投稿にご協力いただきました各位に感謝申し上げます。

平成20年度栗原廣海学長のもと、気持ちも新たに各学部が活動しています。今回の通信には卒業生の声に加え、新入生からの声も掲載し、短大の元気な姿をお届けしたところ。今後も通信にご意見を賜いますようお願い致します。

- ◆医療・福祉 医療事務センター、岩間眼科、ひだまり歯科医院、わきたに眼科医院
- ◆教育、学習支援 (株)ゲット・アット
- ◆サービス業 鈴鹿農業協同組合、多気郡農業協同組合、津安芸農業協同組合、三重県漁業協同組合連合会、イセセット(株)トヨタレンタリース三重、繁栄商事(有)、百五スタッフサービス(株)、三重県医師会、三重県医師国民健康保険組合
- ◆公務員 大紀町職員
- ◆四大等編入 鈴鹿国際大学・愛知文教大学、三重大学 大学研修生

鹿ハント、タケシヨウ(株)、トヨタカローラ三重(株)、ネットトヨタ(株)、三重いすゞ自動車(株)、三重トヨタ自動車(株)